

市政会会派視察報告書

池田滋彦

平成30年2月7日～8日

視察先 2月7日 兵庫県たつの市

2月8日 岡山県津山

平成30年2月7日 視察先 兵庫県たつの市

視察目的 自立のまちづくり事業について

市民の皆さんが自主的に行う「まちづくり活動」を支援し地域の身近な公共施設を自分たちの手で守る活動、地域の活性化を図る活動を考えていく。

支援対象活動は

公共施設の補修等活動、公共施設の美化等活動、空き家対策活動、地域のまちづくり振興活動、女性コミュニティ活動、里山整備活動、農業施設の災害復旧活動があり、対象とする団体が活動別に申請し支援ないように応じて支援金が補助される。

たつの市は、兵庫県南西部に位置し南北に細長い地形となっており、その中を南北に貫く形で揖保川が流れ自然環境に恵まれた地形となっている。

この地域にとって貴重な存在である揖保川を軸に。山々の原生林・豊かな緑、瀬戸内海国立公園にも属する関西一の遠浅海岸、新舞子浜、梅林などの自然資源や、国指定史跡の新宮宮内遺跡、国指定重要文化財の賀茂神社、城下町に連なる古い町並み、国指定重要文化財の永富家住宅等の建築物、江戸時代に海の宿駅として栄えた

室津港などの歴史的資源も豊富であるところですが平成17年に合併があり、

龍野市、新宮町、揖保川町、御津町の1市3町がなされた。

合併により自主的に地域は地域でまちづくり、保存活動を推進するものとしている。

現地からは年間どの程度申請があるのかを質問したところ応募審査する枠分はほぼ見たと回答された。合併で多くなった自治会は連合自治会として運営され高齢者が多いがそれぞれの自治会で自立事業を活動している

他にまちづくり振興としてたつの市の地産物を販売している、

まちづくりの主体は市民であると市長提案で行われている。実績はおおむね良好で

意識も定着してきたとのことでした。知立はボランティア活動も盛んであるが愛護会でのまちづくり(愛護会で)の活動があるが事業が良く似ていると感じました。

最後に揖保川があるところからここには全国的に有名な特産品「揖保の糸」そうめんの工場があり見学させて頂きました。

2月8日 視察先 岡山県津山市

視察目的 鉄道近代化遺産をもちいての観光振興策について

岡山市から電車で1時間15分位の津山市は、古代から一貫して、岡山県北東部地方の拠点として、政治・経済文化の中心的役割を担っている。旧津山藩の城下町から発展した現在も、津山城を中心に昔の面影を残し、自然、歴史及び文化のすべてにおいて豊富な観光資源を有している。

津山駅に降りて感激したのは昨年8月完成した歴史を思わせる情緒ある駅前
の風貌に驚きました。本来の視察よりも駅前の風貌にこんなところを知立市も
見て研究すべきだなあと思わされた、さらに駅交通観光案内所は小さな建物ですが
鉄道、バスの切符売り場と観光案内所があり、更に隣は待合室兼観光土産売り場があり素朴に
簡素な施設に皆感心してきてきました。歴史的に古い城下町、特に津山城あとは見本でも大き
さでは1、2を思わせると説明を受けました

視察目的の津山市観光戦略アクションプランは平成25年9月に観光都市宣言を決議された。
目的は津山市を「訪れたいまち、住みたいまち」にすること。

観光立市を実現するためには、観光地として環境の整備をすることと、行政や観光関係者は言
うまでもなく広く市民が観光市に対する理解を深め、一人一人が担い手としての役割を果たす
ことが重要であり郷土への愛着を持ち、「住み続けたいまち」となることが、観光客にとって
「訪れたいまち」となると示されている。訪れる観光客が津山市の良さを共有し、感動を与え
ることができれば、津山市の評価や知名度が高まる。市民が一体となって、豊かな自然と歴史
の魅力ある観光資源を生かし

今後の発展にしたい、と報告がありました

そして「津山学びの鉄道館」を視察、全国的に現存している扇型機関車庫の中で
2番目規模を誇る「旧津山扇型機関車庫」や収蔵車両を通信とするさまざまな展示と憩いの施
設で構成されている。車庫から転車台で回転し本線に入り起動するのは
有名であり今では津山市と京都に保存されている貴重な国の遺産だと思います
歴史と観光の町であることなのかすべての人が優しく親切丁寧に 応対 されたのが本当に印
象に残り知立市も参考にできればと痛感しました。